

平成29年2月 東京地区百貨店売上高概況

平成29年3月22日

I. 概況

1. 売上高総額	1, 168億円余
2. 前年同月比	-3.1% (7か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-2.0%(88.0%) : 非店頭-10.5%(12.0%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成29年1月対比±0店)
5. 総店舗面積	873,232㎡ (前年同月比:1.8%)
6. 総従業員数	18,444人 (前年同月比:-1.2%)
7. 3か月移動平均値	7-9月 -2.6%、8-10月 -4.5%、9-11月 -3.0%、 10-12月 -2.1%、11-1月 -1.3%、12-2月 -1.7%

[参考] 平成28年2月の売上高増減率は2.7%

【特徴】

- (1) 2月の入店客数は2.8%減で3か月ぶりのマイナス。バレンタイン商戦の賑わいなどにより、前年の閏年などのハンデをカバーしたものの、前年を確保するまでには至らなかった。また、入店客数に連動した売上高も3.1%減で7か月連続の前年割れに終わった。
- (2) 商品別では、ここ数か月のトレンドに大きな変化は見られず、全国同様に化粧品が好調な雑貨が3か月連続でプラスとなった一方で、衣料品については、卒業式や入学式などの歳時記関連や服飾小物のセール品に動きが見られたものの、気温低下により春物の出足が鈍く6.5%減で、16か月連続のマイナスに終わっている。
- (3) また、食料品については、天候不順によりマグロやブリなどの漁獲量減少が価格の高騰を招き、生鮮食品が8.0%減と数字を落としたが、バレンタインの関連催事や恵方巻きなどの好調を背景に、菓子やその他食料品が堅調で、3か月ぶりにプラスに転じている。
- (4) プレミアムフライデーについては、「食」を中心に各店が趣向を凝らした企画を展開し、初回としては一定のレスポンスを確認できた。今後の定着化に向けては、取り組み分野の拡大や近隣商店街との連携を通じて、継続かつ着実な取り組みとしていきたい。
- (5) 3月は15日現在で約1%強のプラスで推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 27.7日 (前年同月比 -0.9日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
①増加した:5店、②変化なし:4店、③減少した:10店
- (3) 2月歳時記 (バレンタインデー・節分) の売上 (同上/有効回答数12店舗)
①増加した:8店、②変化なし:4店、③減少した:0店

東京地区百貨店 売上高速報 2017年02月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	116,814,507	100.0	-3.1
紳士服・洋品	8,393,323	7.2	-1.6
婦人服・洋品	18,781,374	16.1	-8.2
子供服・洋品	2,612,361	2.2	-4.7
その他衣料品	2,041,254	1.7	-12.2
衣 料 品	31,828,312	27.2	-6.5
身のまわり品	16,188,957	13.9	-4.5
化粧品	12,113,263	10.4	14.6
美術・宝飾・貴金属	7,534,159	6.4	-5.7
その他雑貨	5,114,345	4.4	-9.5
雑 貨	24,761,767	21.2	2.3
家 具	1,464,268	1.3	-29.8
家 電	698,740	0.6	-8.7
その他家庭用品	3,253,183	2.8	-24.1
家 庭 用 品	5,416,191	4.6	-24.1
生 鮮 食 品	3,825,178	3.3	-8.0
菓 子	11,022,170	9.4	-0.1
惣 菜	5,667,513	4.9	-4.7
その他食料品	9,568,560	8.2	9.6
食 料 品	30,083,421	25.8	0.7
食 堂 喫 茶	2,658,183	2.3	-4.9
サ ー ビ ス	2,149,288	1.8	8.8
そ の 他	3,728,388	3.2	4.0

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	1,698,201 千円	-9.6
従 業 員 数	18,444 人	-1.2
店 舗 面 積	873,232 m ²	1.8

営 業 日 数	27.7 日	前年	28.6 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が3か月連続、食料品が3か月ぶりのプラスとなった。また、衣料品が16か月連続、身のまわり品が7か月連続、家庭用品が6か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が23か月連続、その他食料品が2か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-3.1	-	7か月連続マイナス
紳士服・洋品	-1.6	-0.1	2か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-8.2	-1.4	16か月連続マイナス
子供服・洋品	-4.7	-0.1	8か月連続マイナス
その他衣料品	-12.2	-0.2	3か月連続マイナス
衣料品	-6.5	-1.8	16か月連続マイナス
身のまわり品	-4.5	-0.6	7か月連続マイナス
化粧品	14.6	1.3	23か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-5.7	-0.4	2か月連続マイナス*
その他雑貨	-9.5	-0.4	7か月連続マイナス*
雑貨	2.3	0.5	3か月連続プラス
家具	-29.8	-0.5	2か月連続マイナス
家電	-8.7	-0.1	3か月連続マイナス
その他家庭用品	-24.1	-0.9	10か月連続マイナス
家庭用品	-24.1	-1.4	6か月連続マイナス
生鮮食品	-8.0	-0.3	12か月連続マイナス*
菓子	-0.1	0.0	3か月連続マイナス*
惣菜	-4.7	-0.2	8か月連続マイナス*
その他食料品	9.6	0.7	2か月連続プラス*
食料品	0.7	0.2	3か月ぶりプラス
食堂喫茶	-4.9	-0.1	2か月ぶりマイナス
サービス	8.8	0.1	8か月連続プラス
その他	4.0	0.1	3か月連続プラス
商品券	-9.6	-0.1	2か月ぶりマイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関・橋 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>